

JFMAウィークリーセミナー

【WS0443】2014年 7月 8日 開催

[JFMA賞シリーズ-5] 優秀FM賞受賞

東日本電信電話(株)－東日本大震災後の本格復興に向けた取組み

講師：(株)NTTファシリティーズ 東北支店 一級建築士事務所 高橋 一信 氏

<概要>

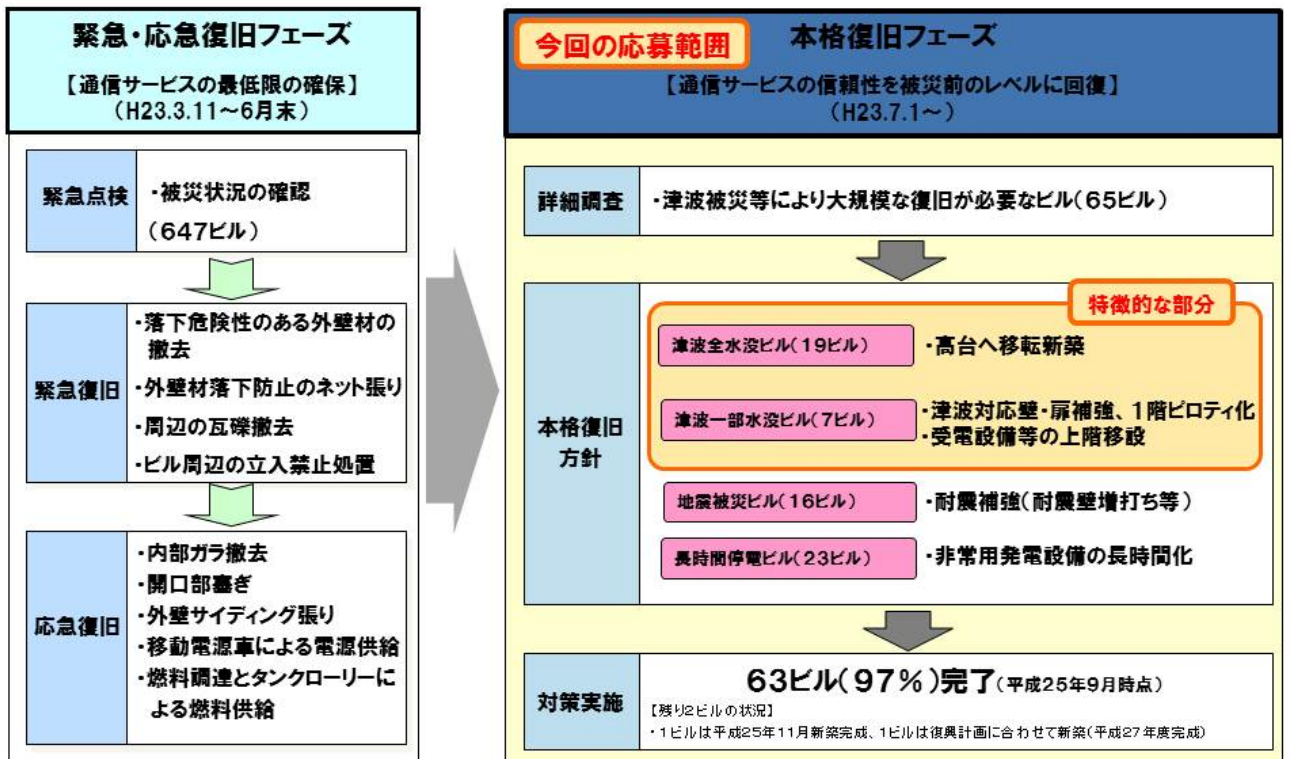
2011年3月11日に発生した東日本大震災後のNTT通信施設の本格的復旧についてご紹介されました。

従来から考慮していた「地震」「浸水」に、「広範囲・長時間停電」「津波」をキーワードとして従来以上の災害対策を検討。5段階の被災レベルに応じ、高台へ移転新築、重要室の水防対策強化、危険個所の改修、簡易工事、動作試験・安全確認等、普及方針が整理され実施されました。

地域復興計画の確定が遅れた1局を除き2012年度中に本格復旧を終えた。経験と知見、新たなデータ分析に基づく戦略的な復旧案の作成と実施は、FMリスクマネジメントの大変優れた事例として高く評価されました。

すさまじい被害の中、災害対策本部の現地での意思決定、通信サービスの信頼性の確保を目的とした復旧の取組、本格復旧方法判断フローが説明され、本格復旧の状況が改めて認識されました。(稲田祥)

東日本大震災後の本格復旧については、通信サービスの信頼性の確保を目的として取り組み、ほぼ完了した。



JFMAウィークリーセミナー

【WS特別】2014年 7月18日 開催

[JFMA賞シリーズ-特別企画] 第8回最優秀ファシリティマネジメント賞(鶴沢賞)受賞
佐賀県「武雄市図書館」【見学会】

<概要>

佐賀県武雄市、武雄市図書館・歴史資料館は、官民連携による「新・図書館構想」を実現した優れた施設として、最優秀ファシリティマネジメント賞(鶴沢賞)を受賞しました。

当施設では「市民の生活をより豊かにする図書館」のコンセプトで、図書館と蔦屋書店・スターバックス店舗を一体経営、開業3ヶ月で26万人の来館者・書籍貸出冊数2倍、さらに、年間を通した賃料収入や運営費の削減予定など、新しい公共施設の在り方に一石を投じ、各紙誌でも大きく取り上げられました。

当日は武雄市様のご協力により、当施設をJFMAウィークリーセミナーの一環として見学、ご案内いたしました。

平日にもかかわらず、たくさんの市民の方に利用され、賑わう図書館に、公共施設の1つの将来の在り方を体験することが出来ました。

また、指定管理者との合意やその後の調整など、興味深いお話を聞くことが出来ました。(稲田祥)

新 図 書 館 構 想



事業主体 武雄市

企画サポート カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

JFMAウィークリーセミナー

【WS0444】2014年 7月30日 開催

[JFMA賞シリーズ-6] 功績賞受賞

9グリッドによる情報記述の枠組み：
人工物の分析における情報インターフェイスに関する研究
講師：東京大学 生産技術研究所 助教 森下 有 氏

<概要>

本会は、森下様が2012年度に東京大学の博士論文として提出した論文の内容を、わかりやすく著者自身にお話いただく企画でした。

FM関連情報について、「設計・生産・運用」の3フェーズを「作り手・インターフェイス・使い手」の3つの属性に分類した「9グリッド法」によって情報構成の在り方を俯瞰的に比較する研究手法のご説明がありました。

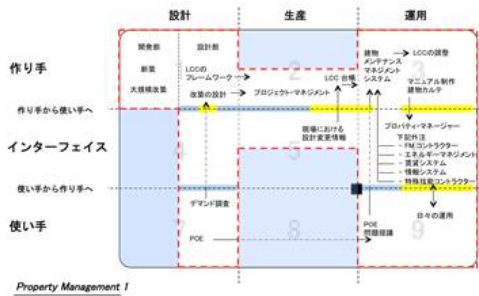
また、FM関連企業9社（PM会社、ゼネコン、FMコントラクター、オフィス関連会社、情報システムプロバイダ等）を対象として調査し、ケーススタディとして建築のライフサイクルにおける情報の実態について可視化を試みているその図式は、関係者とのコミュニケーションを図るためにも有用な手法であることが強く認識されました。

当日は活発な質疑応答もあり、実りある会とすることができました。（稲田祥）

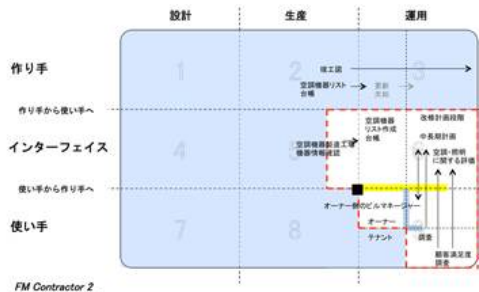
「9グリッド情報記述手法」によるFM社の実務の記述

→実務の比較検証からFM実務における情報運用の多様性を認識

プロパティマネジメントの一例



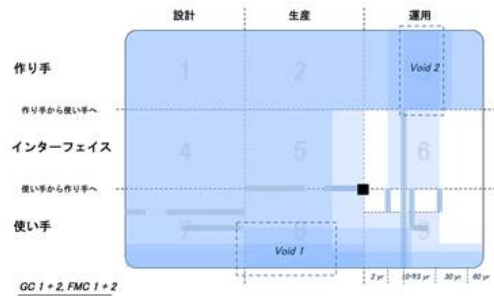
FMコントラクターの一例



9グリッドによる情報分析事例

→業務主体間のマネジメント領域と対象とする情報群の相違を把握

分析事例1：情報ギャップ、ヴォイドの分析（ゼネコンとFMコントラクター4社より）



分析事例2：情報システム、FM-erの位置づけの相違による情報生産の関係性を比較

